

◎ 年間スケジュール

	4月～6月		7月～		4月～6月		7月～		4月～6月		7月～		
学校行事													
トライ対策スケジュール	1年 基礎力養成期				2年 応用力養成期				3年 進学準備期				
	数・英: 中学分野の復習・最理解 高校での学習ペース作り		数・英: 授業で習う内容のフォロー		数・英: 1年で習った内容の理解度チェック、復習による定着		数: 授業で習う内容のフォロー。応用・発展問題への取り		数: 2年で習った内容の理解度チェック、復習による知識の定着。高校数学の総まとめ・理解。		英: 英検取得に向けての実践演習。(過去問などを使用)		英: 高校英語の総復習。大学英語への準備
			三者面談 志望校相談				三者面談 志望校相談②				三者面談 公立判定診断		
ポイント	・勉強の仕方の習得 ・一人ひとりに合ったカリキュラムの作成				・確かな基礎力と基礎を組み合わせることで解答を導く 応用力を身に付ける ・必要なときに必要な単元まで戻って学習する				・早期からの論文・面接対策を行なう ・資格取得と同様、短期〇〇回などのプログラムを組み面接・論文の指導を行なう				

◎Data Mining

学習のポイント	<p>・中・高通して数学・英語に重点を！：一貫高の学習では受験がないため、普段の授業・定期テストが重要な判断材料となります。特に英語・数学に関しては知識の積み重ねが必要な教科でもあり、入学時から卒業時まで授業で習った段階でしっかり理解・定着していくことが肝要です。・提出物が重要！：推薦での進学では提出物や授業態度も重要な要素となります。赤点ぎりぎりの際などの判断は提出物・授業態度の状況にゆだねられることが多く、普段から気をつけることが重要です。</p>
推薦時の論文・面接	<p>ポイント：①論文：基本的にテーマは自由。分量は1200～1500字程度が目安。在学中に選択していた学科・コースによってある程度、テーマの方向性が決められている場合もあります。②面接：希望した学部志望理由、在学中に取り組んだこと、大学入学後の展望などについて質疑応答が行なわれる。事前にプレ面接があるが、自宅などでもある程度質疑を想定し、事前にシミュレーションすることが重要。</p>
英検2級以上の取得	<p>推薦に関しては英検の取得が評価材料になる。2級以下でも評価対象にはなるが、自分が希望する学部へ確実に入るということを前提にするのであれば、最低2級以上の取得が必要。英検2級取得には、最も重要となるのは語彙力である。</p>
兵庫県内関学付属校と推薦	<p>兵庫県内には関西学院等東部・啓明学院・三田学園が関西学院大学への推薦コースを設けており、関学への推薦に際しては①高校入学時からの成績・生活態度 ②卒業論文 ③面接 ④英検・漢検等の資格取得(ともに2級以上)のような諸条件と本人の希望を総合的に評価して推薦の取得可否が決定する。学部への振り分けについては、成績上位者から順に希望学部振り分けられる。経済・商・法学部等は人気が高いため、希望者は入念な対策が必要である。</p>
大学付属一貫校での学習	<p>公立高校における受験のようものはなく、明確な受験勉強をしないのが一般的であるが、それゆえに普段の学習に対するモチベーションや勉強の仕方、毎回の定期テストの対策が高校卒業後の進路を決める重要な要素となる。大学への推薦に際して論文や面接、英検、漢検などが評価の対象となる。</p>

◎ こういう生徒にお勧め！

- ・関西学院大学への内部進学(推薦)を希望している
- ・高校1年：中学校の内容が身につけていない
- ・高校2年：授業でわからないことが増えた、部活との両立が難しい
- ・高学年：1、2年で習った内容が理解できていない  
内部進学のための資格取得、面接、小論文に不安がある

◎ 対象エリア

- ・対象学年：高校1年生～高校3年生
- ・対応地域：兵庫県
- ・指導期間：お申し込み時から高校3年生の3月末まで

◎ 対策の特徴

- 特徴①セレクトC  
指導経験・対応力のある教師で、生徒様一人ひとりに必要な指導を行ないます。
- ・特徴②理解度確認テスト  
年間6回の理解度確認テストで生徒様の苦手教科・単元・問題形式を分析。随時、指導に反映することができます。
- ・特徴③担任制度  
学習、進路に関してご不安なことがあれば、教師だけでなく、各生徒様についている「担任」がご相談に乗ります。